

# 北九州市沖「次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究」に伴う係留アンカー・チェーン敷設作業延期のお知らせ

福岡県北九州市白島沖合にて、NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー産業技術開発機構）の委託で行われる「次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究」に伴う係留アンカー・チェーン敷設作業を実施します。付近海域の航行船舶は十分な注意と作業へのご協力をお願いいたします。

## 1. 作業時期

—平成29年10月上旬～平成29年12月下旬 **延期（調整中）**  
 —（作業時間—原則として日出～日没） **決定後、改めてご連絡さしあげます。**

## 2. 作業場所

福岡県北九州市白島沖 【図-1】【図-2】参照  
 北緯34° 03′ 11.15″ 東経130° 43′ 25.38″ を中心とした直径1,700mの範囲

## 3. 作業概要

- ①響新港 響灘西地区廃棄物処理護岸にて作業台船「第2芳洋」に係留アンカー・チェーンを積み込みます。【図-3】参照
- ②作業台船「第2芳洋」を響新港から作業場所まで曳航します。【図-4】参照
- ③作業台船「第2芳洋」によりの係留アンカー・チェーンの敷設を行います。【図-6】参照  
 \*作業台船「第2芳洋」により係留アンカー・チェーンの張り合わせを行います。

## 4. 安全対策

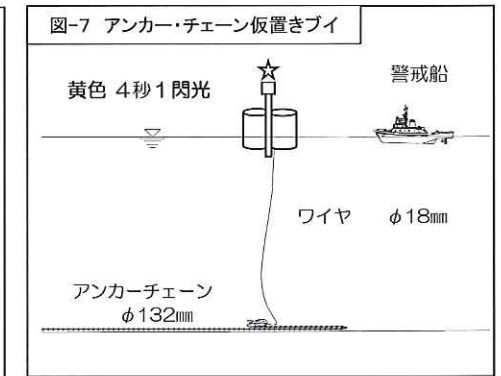
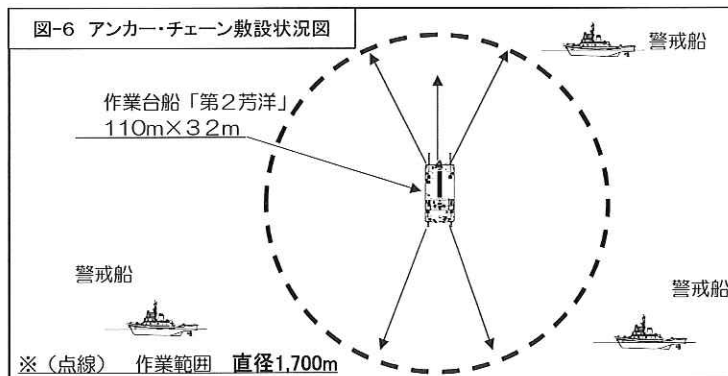
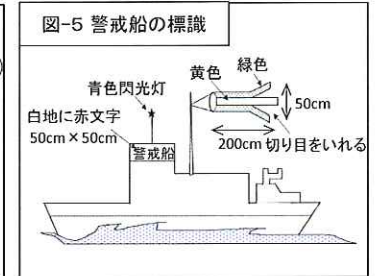
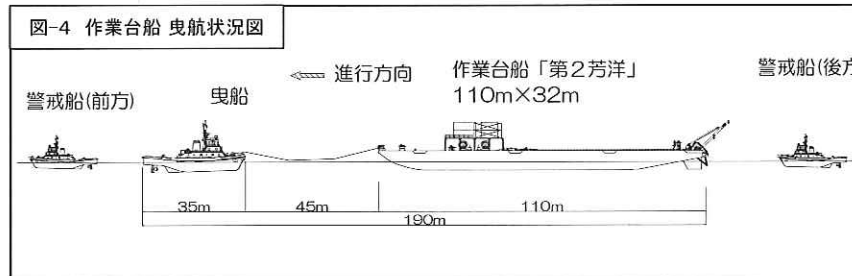
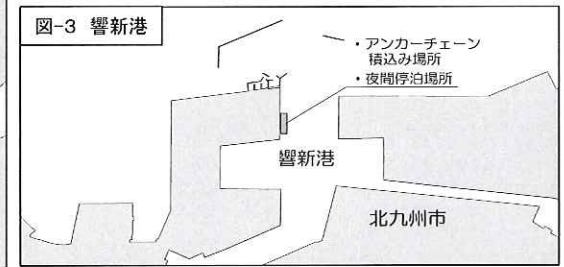
- ①作業台船「第2芳洋」曳航作業中は、警戒船を2隻(国際VHF装備)配備します。  
 【図-4】【図-5】参照
- ②係留アンカー・チェーン敷設作業中は、標識(緑・黄・緑の吹き流し)を掲げた警戒船を3隻(国際VHF装備)配備します。【図-6】【図-5】参照
- ③夜間作業は原則として行いません。(作業の特性上、中断できない作業時に不測の事態が発生した場合は、夜間に掛かる場合があります。)
- ④夜間は、作業場所に待機せず、夜間停泊場所または響新港に退避します。  
 【図-1】【図-3】参照
- ⑤作業場所に係留アンカー・チェーンを仮置きする場合は、ブイ(黄色：4秒1閃光)を設置し、警戒船を1隻(国際VHF装備)配備します。【図-7】【図-5】参照

## 5. 通航船舶へのお願い

- ①チェーン敷設作業中に作業場所付近を航行する場合は、操船に影響のない範囲で、できる限り作業船回から離れての航行をお願いします。
  - ②AIS搭載船にあつては、AISの有効活用をお願いします。
  - ③付近を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取してください。VHFで警戒船を呼び出すときは「洋上風車の警戒船」と呼びかけてください。
- ★なお、作業終了後、作業場所にチェーンを残置しますので、作業エリア内に投錨する際は注意してください。

## 6. 作業情報の問合せ先

作業台船「第2芳洋」 TEL 090-3023-0687 (担当者：宮本)  
 予備電話 080-2788-3482  
 FAX 03-6888-4396



7. 委託業者 日立造船(株) 大阪市住之江区南港北1-7-89 TEL 06-6569-0214 工事責任者 安岡 携帯 090-8753-9256
8. 施工者 (株)吉田組 東京都中央区日本橋堀留町1-5-9 TEL 03-6661-9988 現場代理人 渡邊 携帯 080-6228-7892

# NEDO\*「次世代浮体式洋上風力発電システム」実証研究の概要について

## ○概要

福岡県北九州市響灘沖約15km(水深約50m)にて浮体式洋上風力発電設備を1基設置し、実証研究を行うもの。

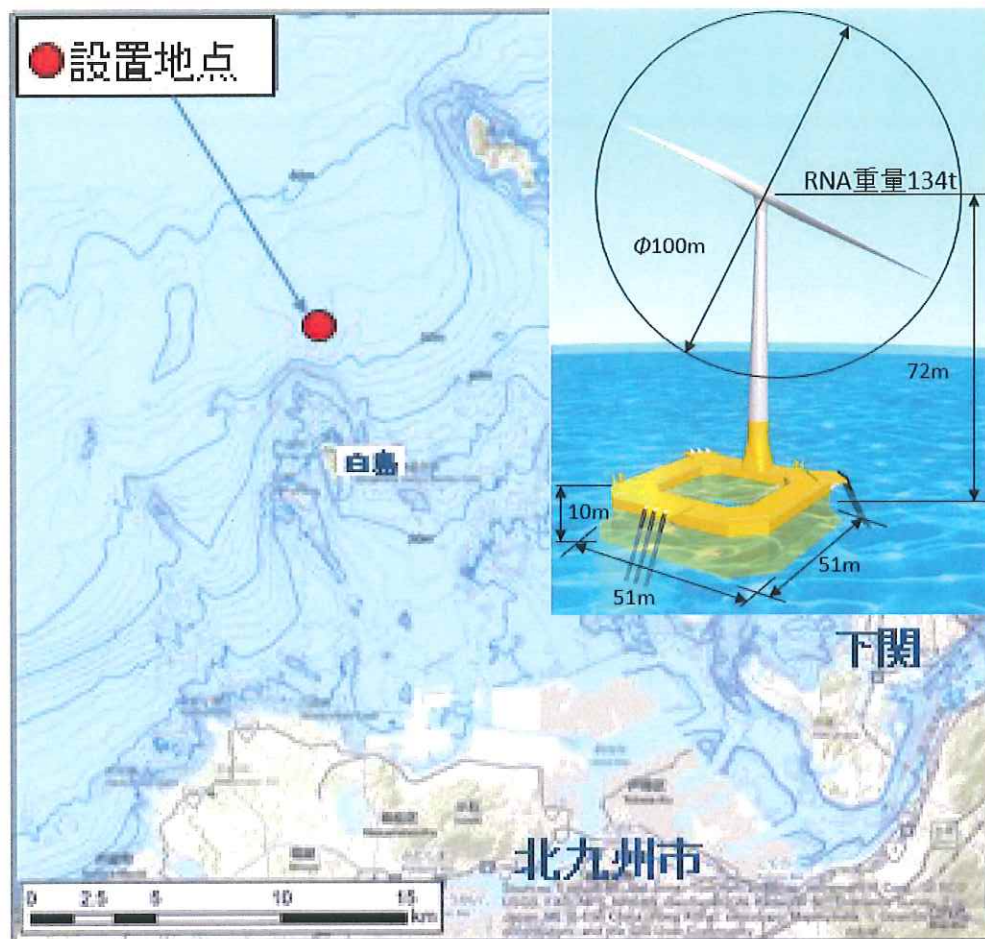
## ○発電設備概要・設置海域

風車仕様: 定格出力3MW/2枚翼

浮体仕様: 鋼製/バージ型

## ○実証研究体制

委託元: NEDO



コンソーシアム	各社担当業務
- 丸紅株式会社 (幹事会社)	海域利用者や行政機関との調整、 事業性評価
- 日立造船株式会社 (技術幹事会社)	風車浮体設計、施工、等
- 株式会社グローカル	風車及び係留等の調達、 係留の調査
- 国立大学法人東京大学	国民との対話、性能安全性評価等
- エコ・パワー株式会社	保守管理技術開発、 環境影響評価
- 九電みらいエナジー株式会社	系統連系等

\*NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)は経済産業行政の一翼を担い、「エネルギー・地球環境問題の解決」及び「産業技術力の強化」に取り組む国立研究開発法人。